

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業 / 保育士)	
授業科目名：保育実習Ⅲ 英語表記：PracticeⅢ(Nursing School) ナンバリング：2707			単位数：2単位 (10日間)実習	担当教員名：高橋努 担当形態：単独
科目／系 列		／保育実習		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目		／保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲ		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 「保育実習Ⅰ（施設）」で学んだことを実践できる。 2. 児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設における社会的養育の実情を理解できる。 3. 施設保育士として必要な資質・能力・技術を習得し、実践できる。				
【授業の概要】 既に学んだ教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等の役割や機能、業務内容、職業倫理について理解する。地域と家庭との連携、保護者や家庭支援のための知識、技術、判断力を習得し、実習における自己の課題を理解し今後につなげていく。				
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】				関連性
【知識・理解・技能】				
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。				○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。				
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。				○
【思考・判断・表現】				
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。				○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。				○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。				
【関心・意欲・態度】				
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。				○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。				○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。				○
【授業計画】 2年次の9月以降、施設との調整のうえで10日間（休日を含む）の実習を行う。 【実習課題（実習計画）】 「保育実習Ⅰ」において、理解できた点、残された課題等を整理して、自らのテーマを選定し、日々の記録をおこない、課題達成に向けて努力すること。そのために、課題は明確であり、かつ、簡潔であることが望ましい。 【参加型実習】 本実習は、「保育実習Ⅰ」において学んだことをもとに、担当者の補助的役割を果たしながら、施設養護や支援の方法について実践的な理解を深める。 定期試験：なし			【授業時間外の学習】 ・専門分野的な実習になるので、「保育実習指導Ⅲ」で基礎的な知識をしっかりと学習したうえで、実習に臨むこと。 （2時間） ・事前学習は、「利用者理解」と「家族支援」など多岐にわたる。文献検索など事前学習をしっかりと進めること。 （4時間）	

【授業の方法】 児童福祉法にある児童福祉施設（保育所を除く）及び障害者施設等での実習。 フィードバックについては、施設からの評価をもとに、個別面談を実施。	
【テキスト】 『施設実習 パーフェクトガイド』 守巧ほか著 わかば社	
【参考書・参考資料等】 実習先でのオリエンテーション及び実習において、実習のしおり、実習生の心得等の資料を配布。	
【学生に対する評価】 （課題の評価については、ルーブリック評価を活用する） 施設実習の評価（50%）、課題（50%）。	
【履修上の注意】 ・年度初めに「保育実習Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」との希望調査を実施する。その際、「保育実習Ⅲ」を選択した学生が履修することになる。 ・「保育実習指導Ⅲ」を必ず履修すること。 ・将来、施設保育士等を目指す学生が履修することが望ましい。 ・児童虐待や発達障害に関する相談支援等について理解を深めたいと思う学生が履修することが望ましい。 ・副読本として、本学の『実習の手引き』を使用する。	
実務経験の有無：有	実務経験：元施設勤務（社会福祉士）
【実務経験を生かした教育内容】 施設での実習生指導の経験を活かし、実習日誌の記入方法や実習目標の考え方などを説明する。実習先の種別に合わせた目標設定ができるよう授業を行う。	